

報告事項キ

倉吉市立図書館と連携した県中部におけるビジネス支援サービス事業の充実
について

倉吉市立図書館と連携した県中部におけるビジネス支援サービス事業の充実について、
別紙のとおり報告します。

平成26年11月10日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

倉吉市立図書館と連携した県中部におけるビジネス支援サービス事業の充実について

図 書 館

鳥取県立図書館では、ビジネス支援サービスを中西部の方にも活用していただくため、昨年度の米子市立図書館との連携に続き、今年度は倉吉市立図書館と産業支援機関と連携し、県中部におけるビジネス支援サービス事業の充実を図っている。

1 ビジネスライブラリーフォーラム

「6次産業化支援から商品開発・企業経営支援まで

～地域活性化に貢献する公共図書館の可能性～」の開催(10月24日)

鳥取県立図書館と倉吉市立図書館の連携事業として、地域活性化に貢献する図書館の可能性について考えるフォーラムを開催した。

- (1) 日時 10月24日(金) 午後1時30分～4時50分
- (2) 場所 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
- (3) 主催 鳥取県立図書館、倉吉市立図書館
- (4) 共催 倉吉商工会議所ほか
- (5) 内容



- ア 挨拶 県教育委員会次長、倉吉市長
- イ 講演1 「ないものはない、地域の再生と「島まるごと図書館」」
山内 道雄氏(海士町長)
- ウ 講演2 「公共図書館の潜在能力を引き出す図書館活用法」
竹内 利明氏(ビジネス支援図書館推進協議会長・電気通信大学特任教授)
- エ 報告 「6次産業化にも役立つ図書館活用法」 鳥取県立図書館
- オ パネルディスカッション
「図書館を使いこなす！地域活性化の視点からみた図書館活用の実際」
コーディネーター 糸賀 雅児氏(慶應義塾大学文学部教授・鳥取県政アドバイザー)
パネリスト 山内 道雄氏(前出)
竹内 利明氏(前出)
岡村 浩道氏(大江ノ郷自然牧場「ココガーデン」店長)
西山 信一(鳥取県中部総合事務所長)ほか

- (6) 参加者 91名(県民、産業支援機関、行政職員、図書館関係者等)

(7) 参加者の主な感想

- ・パネラーすべての方の発言内容、歯切れも良く、新しい図書館の活用を知りました。
- ・図書館を見る目が少し変わりました。今まで利用することはほとんどありませんでしたが、利用しようと思いました。
- ・6次産業化において図書館利用がいかに関与するかがよく分かりました。

2 倉吉市立図書館における「ビジネス・農業支援コーナー」の開設(10月24日開設)

倉吉市立図書館では、農業関係者の多い中部地域の特性に注目し、6次産業化に役立つ本等を配架したコーナーを新たに設置した。

6次産業化の流れに沿って農作物の栽培、商品開発、広報・販売のテーマごとに関連する本を並べ、県立図書館の本約500冊と倉吉市立図書館の本約250冊を配架した。

また、県や市町村の経済動向や、指定の地域の消費購買力などの市場性が評価できるデータベース「商圏分析システムMi e Na」を倉吉市立図書館で利用できるようにしている。



「ビジネス・農業支援コーナー」

3 倉吉市立図書館の「ビジネス情報相談会」の開催(11月19日～)

倉吉市立図書館(倉吉交流プラザ)を会場に、鳥取県よろず支援拠点の相談員と鳥取県立図書館、倉吉市立図書館職員によるビジネス情報相談会を開催する。

仕事に必要な情報を探している方を対象とした相談会であり、図書館司書がビジネス情報の調査をサポートし、鳥取県よろず支援拠点の相談員が起業、経営革新、6次産業化などあらゆる相談にお応えする。

[日時] 毎月第3水曜日・午後1時～ [会場] 倉吉交流プラザ

[申込] 事前予約制

なお、鳥取県よろず支援拠点と図書館との連携による相談会は11月から鳥取、米子でも開催。

※「鳥取県よろず支援拠点」とは、中小企業・小規模事業者のための経営相談所で今年度開設。支援相談員は経営相談のプロで、継続して支援案件をフォローすることができる。全国にあるよろず支援拠点で図書館と連携して相談会をするのは鳥取県が初めて。

4 情報収集・活用力セミナーの開催(予定)

(1) 日時 平成27年1月頃(予定) (2) 場所 倉吉交流プラザ

(3) 内容 6次産業化に役立つ情報収集の方法、図書館活用法など

5 成果・課題

- ・ 倉吉市立図書館に「ビジネス・農業支援コーナー」が開設されたことで、ビジネス支援サービスの中部の拠点としての役割が明確化され、県民の方にもどういった図書館の使い方ができるのか、わかりやすく紹介することができた。
- ・ 倉吉市立図書館や産業支援機関と連携して事業を行うことにより、中部におけるビジネス支援の体制ができつつある。今後、具体的成果につなげていくことが必要である。
- ・ 中部でのビジネス支援の取組はまだ知らない方も多く、機会を捉えて出前図書館を行う等、積極的な広報が必要である。